

秋田県立能代科学技術高等学校 中期ビジョン（5か年計画）



【令和8年度～令和12年度】

I 本校が目指す姿

① スクール・ミッション

ものづくりを学び、地域産業の未来を切り拓く人材を育成する学校

② スクール・ポリシー

（i）グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

- 技術革新と社会の変化に主体的かつ柔軟に対応する生徒
- 専門的な知識や技術、技能を身に付け、地域活動に積極的に関わることで、地域産業の発展に貢献できる生徒
- 豊かな心を持ち、将来、自立した社会人として社会で責任を果たすことができる生徒

（ii）カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

- 専門教育の充実
 - ・各学科で専門性を高めるカリキュラムを編成します。また、地域企業等と連携した専門的な講座、インターンシップ、現場見学、スマート農業実習等を実施することで、確かな技術と高い倫理観を備えた職業人を育成します。
- 幅広い教養を身に付ける
 - ・普通教科の充実を図り、将来職業人として求められる幅広い教養が身に付くカリキュラムを編成します。また、科学的な視点と思考力、ICT活用能力を高める授業を全ての教科・科目で実施します。
- 自己有用感、自己肯定感を育む
 - ・本校の教育活動全体を通して、言語活動の充実を図り、思いやりの心をもって他者と学び合い、高め合い、認め合うことで自己有用感、自己肯定感を育みます。
 - ・地域の豊かな自然環境や資源を取り入れた実践的な学びを深め、社会に貢献する喜びを分かち合い、自然と人を敬う郷土愛を育みます。

（iii）アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- 工業科
 - ・技術革新と社会の変化に主体的かつ柔軟に対応しようとする意欲のある生徒
 - ・工業に関する知識と技術の習得や資格取得に強い意欲をもつ生徒

- ・生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組み、入学後も自ら目標を設定して、努力できる生徒

○ 農業科

- ・技術革新から生まれる新たな農業産業の変化に主体的にかつ柔軟に対応しようとする意欲のある生徒
- ・農業や生活福祉に関する知識と技術の習得や資格取得に強い意欲をもつ生徒
- ・生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組み、入学後も自ら目標を設定して、努力できる生徒

Ⅱ スクール・ポリシーを踏まえた5年間の取組

① 現状と課題

令和3年度の能代工業高校、能代西高校の統合以降、本校は秋田県初となる工業と農業の学科を併せ持つ専門高校として、両学科の専門性を活かし地域の豊かな資源や産業がもつ力を活用しながら、新しい時代に対応できる教育活動を展開し、能代山本地域の産業界を支える人材を数多く輩出してきた。しかし、地域社会においては急激な人口減少と少子化が進行しており、地元企業の労働力不足は深刻な状況にある。

そのため、従来までの学科ごとの枠組みを超えた「農工連携」によるアグリテックの導入を推進することが重要である。工業技術を農業分野の現場課題に即応させ、デジタル技術を活用した地域資源の価値化や農と食の福祉分野への応用など、次世代の産業に関する課題に取り組むことで、広い視野と俯瞰的な視点を持って地域産業の課題を解決しようとする探究型の学びの充実が必要である。

先端技術の導入に対応できる専門性の向上はもとより、生徒一人一人の学習意欲が向上し、自身の将来へのキャリアビジョンが明確となるための、より質の高いキャリア教育の構築が課題であり、地域産業を支え、自律的に歩むことができる人材育成に向け、教育課程の改善が必要である。

② 具体的な取組

(1) キャリア教育の推進により進路目標の達成を図る

- ・キャリア教育の全体計画に基づいた指導の充実を図ります。
- ・地域企業との連携を図り、生徒や教員の地元企業での研修や、地元企業による学校見学など相互交流を活発に行い、技術の向上や地元企業の理解促進を図ります。
- ・社会人講師の知見を活用し、専門分野における実践的な技術の習得を図ります。
- ・県内大学・短大等のキャンパス見学を実施します。
- ・一人一人の適性に応じて、個別面談ときめ細かな伴走支援を徹底し、希望進路達成率100%を目指します。

（２）実践的な学びを充実させ、専門性の深化と目標資格の取得を目指す

- ・ものづくりマイスターや高度熟練技能者による技術指導、地域企業等との協働により専門性を深化させ、専門的・実践的な学びの充実と、目標資格の取得を目指します。
- ・卒業までに工業科では、計算技術検定に加え、各科専門の国家検定・国家資格を、農業科では情報処理検定に加え、各科専門の資格を取得します。
- ・秋田県立大学木材高度加工研究所や秋田県立大学生物資源科学部、秋田工業高等専門学校、秋田職業能力開発短期大学校と連携し、最新の知識や技術、技能を学ぶ機会を設けることで専門分野への興味関心を高めます。
- ・「ものづくりコンテスト」での上位入賞や、農業クラブ主催の各種大会での上位入賞を目指します。
- ・各科の成果である「課題研究発表会」等を公開します。
- ・能代市が主催する「担い手プロジェクト事業」「再生可能エネルギー事業」に参加します。

（３）地域の行事等への積極的な参加を図る

- ・のしろ産業フェアや種苗交換会等で各科の学習内容を紹介します。
- ・各学科で学んだ技術・知識を活かし、近隣の小中学校等での地域ボランティア活動を積極的に行います。
- ・地域の行事に参加し、地域の活性化に貢献します。
- ・環境美化活動による地域共有スペースの価値向上を図り、積極的にコミュニティへ参画します。
- ・農場産そばの播種から実食に至る体験プログラムをPTAと連携して実施し、食農を通じた地域産業への関心を高める機会を創出します。

（４）部活動への積極的な参加を推進する

- ・部活動を通じて健全な心身の育成を図ります。
- ・幅広い部活動での活躍をさらにバックアップします。
- ・各種競技大会やコンテストにおいて、東北大会・全国大会への出場を目指します。
- ・部活動における切磋琢磨を通じ、互いの努力を認め、支え合い、励まし合う確かな信頼関係を築くことで、誰もが安心して自己を研鑽できる健全な集団を形成します。